

# 徳王子・岸本地区 『人・農地プラン』

1

令和3年3月17日  
香南市農林水産課

## 徳王子・岸本地区の人と農地の課題と背景

### ■ 課題

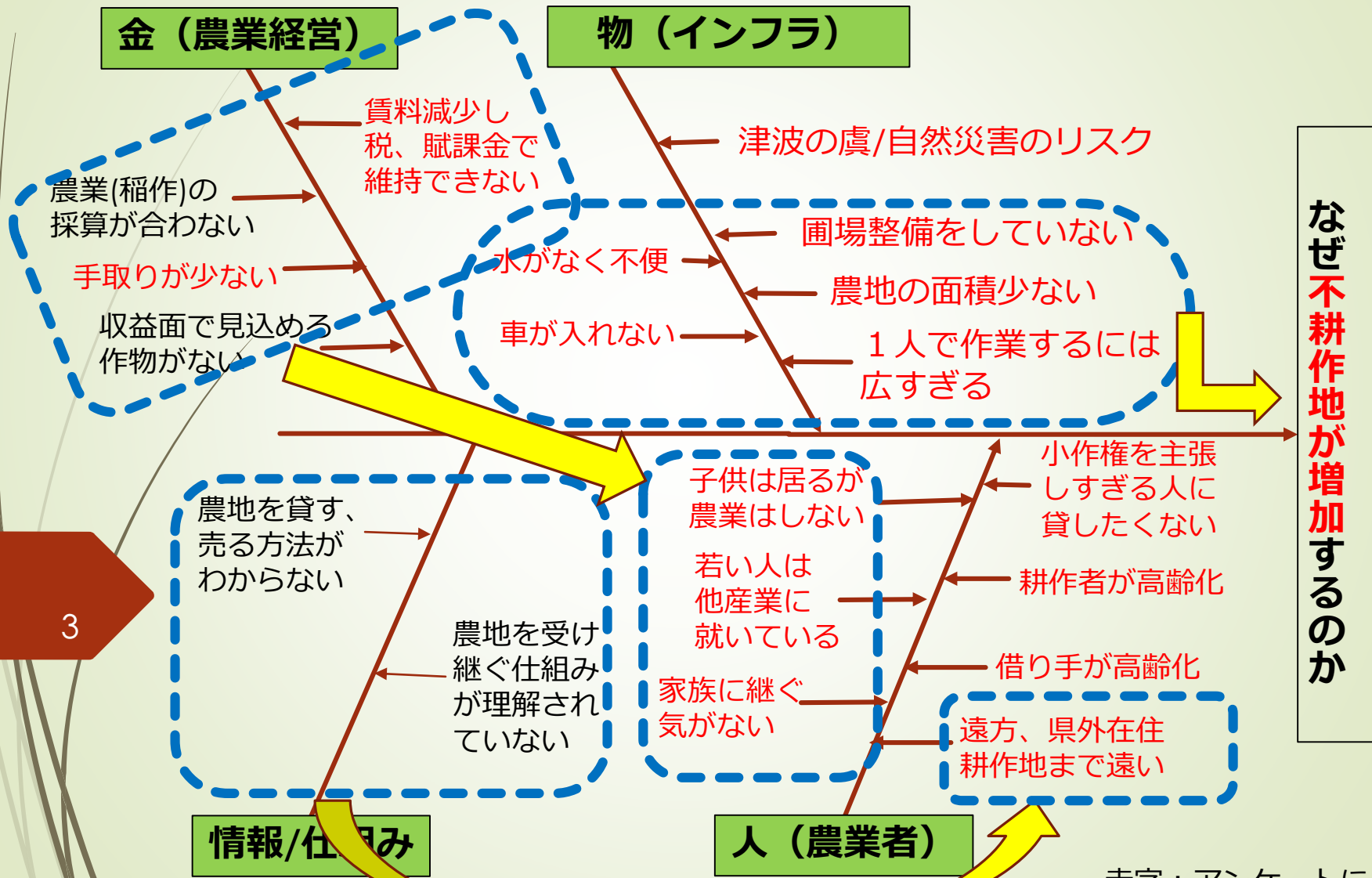
徳王子・岸本地区は、高齢化が進行しつつあり、しかも後継者の不足により、耕作放棄地が増加していることが課題です。

### ■ 課題とした理由/背景

・ 営農アンケートより：  
子供はいても農業後継者ではない状況も含め、後継者不在割合が65%ある。また、耕作者のみならず受け手の高齢化も進んでいる。こうした状況下で、農業者の4人にひとり（24%）は高齢化等による離農や離農を見据えて経営縮小を考えている状況にある。

# 地区の課題の要因

- 結果に至る原因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解
- 要因となる元（矢印の出発項目）に対応を立案



3

赤字：アンケートに同様の内容の記載あり

## 課題対応方針/施策

4

### ■方針（基本的な考え方）

・徳王子・岸本地区は、後継者の不足が課題であるため、圃場整備、農業経営向上、情報取得（特に新規就農のハードルを下げる支援）の強化を通じて、地区の農地の維持につなげる。

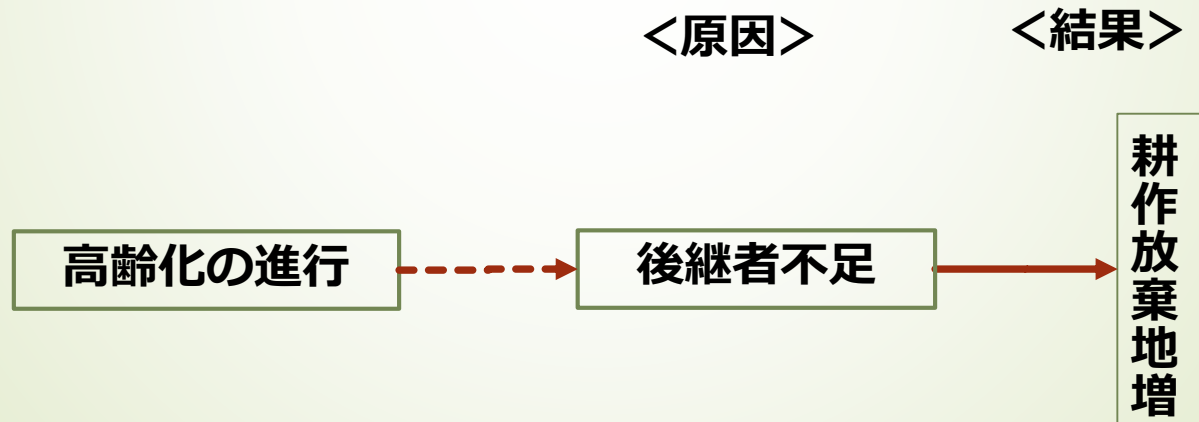
### ■施策（取組み）

方針	施策 (なにを)	目標 (どこまで)	担当（誰が）			期限 (いつ)
			地区 農業者	行政 農業委員会	農業公社 振興C,JA、他	
後継者の確保を通じて農地の維持	・地区の農業インフラ改善促進	・水路/道路、圃場整備に向けた準備/実施計画検討	◎	建設課 ◎		R3.上期
	・事例を通じた低コスト、高収益農業のノウハウの理解促進	・農業経営の向上にむけた研修会開催依頼/受講	◎		農業振興C JA、他 ◎	R3.通年
	・HP等を通じた情報を受ける仕組みづくり（市のHP経由で農業経営/農地情報が得られる仕組み）	・農業採算性の向上の支援となる補助金情報の取得（特に新規就農）	◎	農林水産課 ◎		R3.上期
		・農地の集約/賃貸の方法の情報取得	○	農業委員会 農林水産課 ◎	農業公社 ○	R3.上期

## <参考資料>

- ▶ 以下は、プラン原案策定に至る過程で使用した参考資料です。

- 昨年実施した営農アンケートより下記が徳王子・岸本地区の課題であることが読み取れる。（アンケートの集計結果参照）
  - 高齢化が深刻化している状況で、しかも後継者も不足している。
  - 耕作放棄地が増加している状況がある。
- これらを原因/結果の形に表現すると次のイメージとなる。



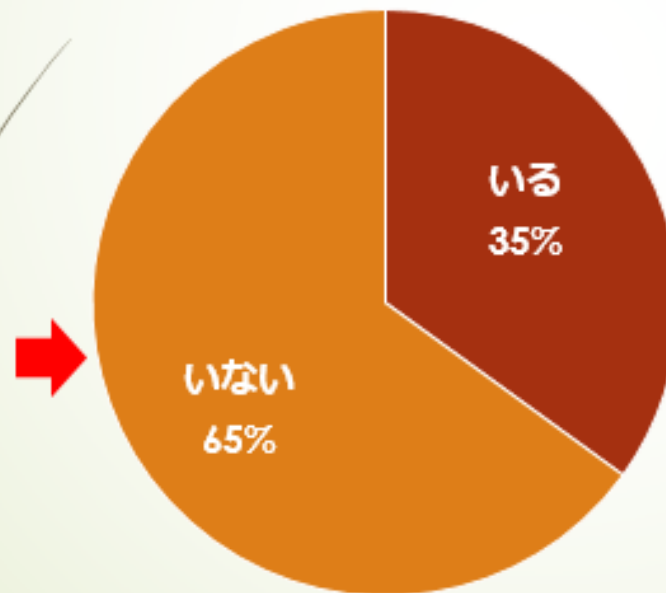
## アンケート集計 (6)

農業後継者

Q4. 後継者 (農業後継者) はいですか？

- 農業後継者のいない割合が65%あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継がないあるいは継ぐかどうかは不明であるケースがある。一方で、将来的な後継の存在も伺える。

農業後継者



コメント：

- ・ 子供はいるがまだ (あとを継ぐかどうか) わからない。
- ・ (子供はいるが) 農業の後継者はいない。
- ・ 相続する者は居ますが、農業をやるかしないかは未定です。
- ・ 農業者、後継者不足は5年後10年後どうなる。人材不足はどうしようもない。
- ・ 70才で仕事を退職したら香南市の実家の方へ引っ越して、多少は農業をやろうかと考えている。

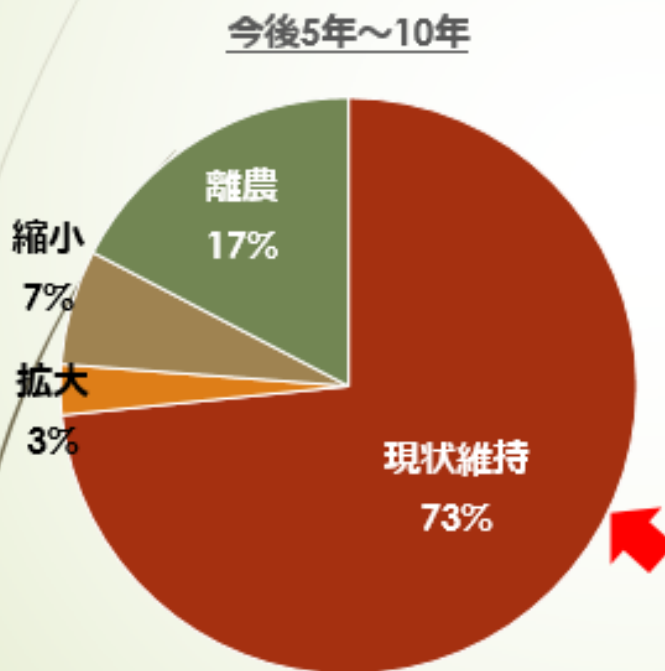
設問への回答者数：283

## アンケート集計 (5)

今後5年～10年の意向

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

- 今後も現状維持するとの意向が73%あった。
- 一方、農業を辞める、規模縮小する、との回答も併せて24%あった。



設問への回答数：248

### コメント：

- ・当分お金を払って管理をし、世の成り行きを見る。
- ・家庭菜園的な利用のみで、今後の変更の予定はない。
- ・もともと家庭菜園程度のものだったが。住人が居なくなったので困っている。(縮小)
- ・兄や弟は継ぐ気はない。子供が成長した時に考えを聞く予定。継続は考えていない。現状遊んでいる土地は貸したい気持ちもあります。(離農)
- ・今は庭の手入れに週一回通っている。子供はいますが、農業はしないと思う。(66才)
- ・蜂アレルギーで3～4回救急車搬送されたしして、嫌気がさして草刈りのみで農業してなかったが、そろそろしようと思っている。(80才)



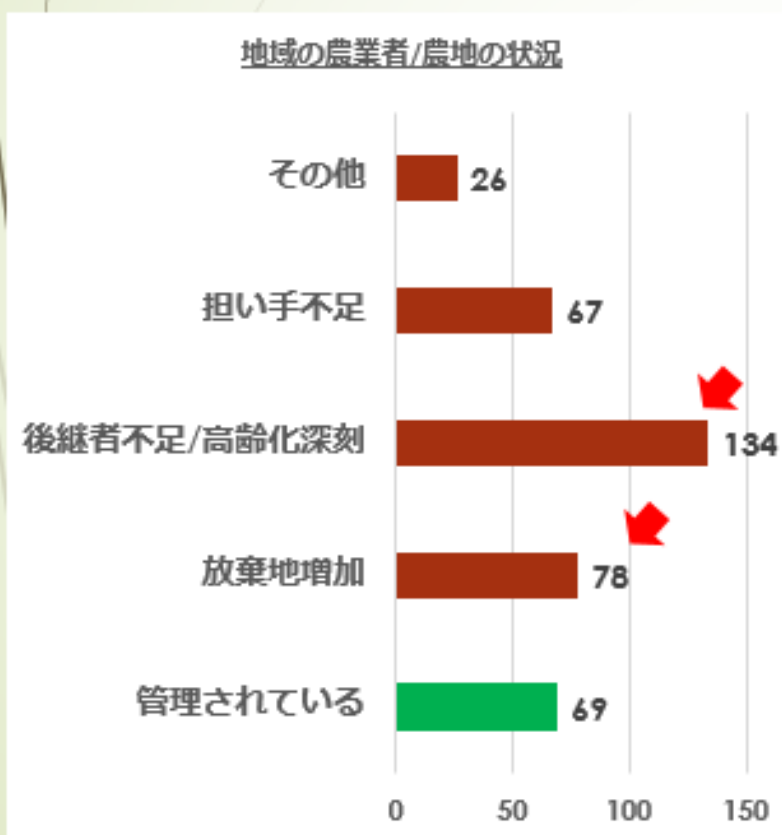
アンケート集計 (7)

地域の状況認識

12

Q6. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

■ 後継者不足や高齢化が深刻であるとの認識が多い。



設問への回答数 : 374

コメント :

- ・圃場整備地区以外は、耕作放棄地が増える。
- ・年数回帰高し管理している。(埼玉在住)
- ・長男は死亡し孫は高知には居ない。耕作放棄をしている。
- ・周辺の田畑・ハウスはほぼ耕作・管理できているようです。詳しいことはわからないが、概ね維持できていると思う。当地の隣接地は放置されて2年目になる。
- ・土地は道路(になっている)
- ・若い方が他産業へ行っている。
- ・そちらに住んでいるのでわからない。(大阪在住)
- ・川崎市在住のため不明
- ・居住していないのでわかりません。(船橋市)
- ・居住していないのでわからない。(高知市)
- ・地域にいない為わからない(東京在住)
- ・よくわからない。
- ・農業に携わっていないのでよくわからない。
- ・自然農法していますので農産の地域的散布は困る。
- ・地域の方をお願いして作物を作っていただいています。
- ・今年8月までは作ってくれるが、それ以後は耕作してくれる人が居ないので、困っている。
- ・南海大地震、津波が30年以内で70%と予測されている現状、海に近い岸本では、人は入ってこないでしょう。
- ・年2回香南市在住の方に草刈りを依頼しています。
- ・何も無い
- ・そのままになっている。

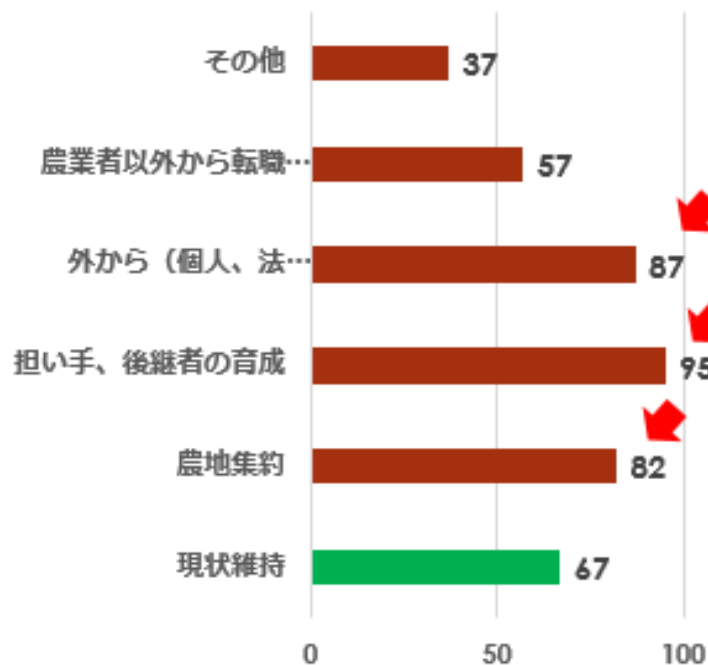
## アンケート集計 (8)

持続可能な農業のために

Q6. あなたの地域の農業が5～10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

■ 現状では地域の農業を維持できる状況ではなさそうである。

### 持続可能な農業



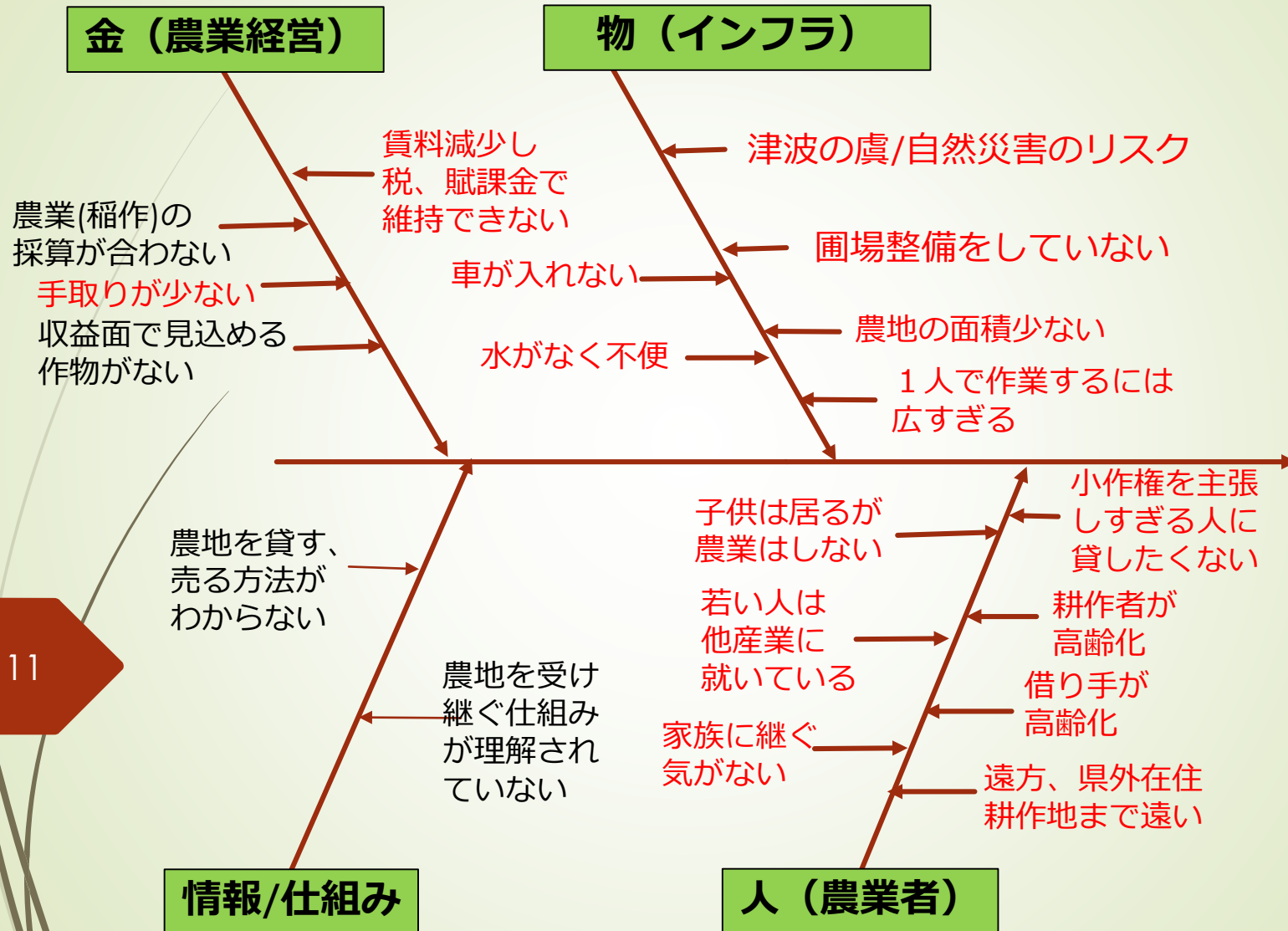
設問への回答数：425

### コメント

- ・ 農家の手取りを増やすような魅力的な政策を希望。
- ・ 現状、借料の減少、維持困難(固定資産税+賦課金)/賦課金を少なくしてほしい。
- ・ 農業を継続することができないので、地域で農業をしている方が、(農業を)出来るように取り組んでいただきたい。
- ・ 中間管理機構を利用する。
- ・ 新たな土地の利用方法を考える
- ・ 状況がわからないので、わかりません。(大阪府在住)
- ・ 他県在住なので詳しくはわからない。
- ・ よくわからない/分かりません。
- ・ (持続可能な農業)不明
- ・ どうしていいのかわからない。/わからない
- ・ わからない/分からない。
- ・ 地域状況不明です。
- ・ 農業に携わっていないのでよくわからない。
- ・ 農地といっても広くないので、難しいことはわかりません。
- ・ 現在87才なので先の事は考えられない。
- ・ 持続可能な農業：可能(性)なし
- ・ 全て無理だと思う。
- ・ バカな事するな。経費がどれだけいるか。
- ・ お願いしないといけない立場だから言えない。

# 地区の課題の要因

## ■ 結果に至る原因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解



なぜ不耕作地が増加するのか

# 農業委員/推進委員の方々との話し合い (2/8)

12

<要因分析>

- ① インフラ（用水路/農道）が弱い要因
- ② 農業経営が成り立ちにくい要因

